

施策 2 4 2

地域スポーツと障がい者スポーツの推進

【主担当部局：地域連携部国体・全国障害者スポーツ大会局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

スポーツを「する」「みる」「支える」といったさまざまな形で参画している人が増え、日常にスポーツがあることによって、スポーツを通じた地域の活性化が図られ、地域が持続的に発展しています。

また、大規模大会で培われたレガシーが次世代に継承されることによって、交流と活気にあふれる人づくり、まちづくりが進んでいます。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率		61.0%		65.0%		71.0%
	50.5%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「みえ県民意識調査」で、「週1回以上、運動やスポーツ（散歩、ぶらぶら歩き、ジョギング、キャンプ、野球、テニスなど（日常生活での工夫した運動も含む））を実施している」と回答した県民（成人）の割合					
3年度目標値の考え方	国の「第2期スポーツ基本計画」における目標値（成人の週1回以上運動スポーツ実施率（令和3年度に65%程度））に並ぶよう、令和3年度まで毎年4%増加することをめざします。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内スポーツ大会等への参加者数		207,000人		210,000人		218,000人
	174,937人					
県が主催する障がい者スポーツ大会等への参加者数		3,900人		5,500人		4,050人
	2,258人					

## 現状と課題

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまなスポーツイベントが延期または中止となり、運動・スポーツを行う際に一定の制約が課せられるなど、県民の皆さんがこれまでと同じようにスポーツに親しむことができない状況が続いています。
- ②このような状況下においても、スポーツを「する」「みる」「支える」ための機会の提供や機運醸成に取り組むことにより、県民の皆さんが日常的にスポーツに触れ親しむための環境づくりを進め、スポーツを通じた地域の活性化につなげていく必要があります。
- ③東京 2020 オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を一過性のものとせず、「する」人だけでなく「みる」「支える」人も含めたスポーツへの関心を持続させるとともに、大会のレガシーをスポーツによるまちづくりにつなげていく必要があります。
- ④東京 2020 パラリンピックや三重とこわか大会の開催を好機ととらえ、障がいのある人への運動・スポーツの参加機会の提供や障がい者スポーツを支える人材の育成等、障がい者スポーツの裾野の拡大により一層取り組む必要があります。新型コロナウイルス感染症の影響により、障がいのある人の運動・スポーツへの参加機会が減少しているため、コロナ禍に対応した参加機会の提供が求められています。

## 令和3年度の実行方針

### 地域連携部

- ①県民の皆さんが「新しい生活様式」における運動・スポーツに慣れ親しむための機会を創出するとともに、県内全域で各年齢層の人々が幅広く楽しむことができる「みえスポーツフェスティバル」や、三重とこわか国体の「デモンストレーションスポーツ」などを契機に運動・スポーツに参加する人々の拡大を図ります。
- ②県内のスポーツイベントと三重とこわか国体・三重とこわか大会の一体的なPRにより、相乗的な周知効果を高めるとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツに参画する（する・みる・支える）ための機運醸成に取り組めます。
- ③東京 2020 オリンピック・パラリンピックの熱気を三重とこわか国体・三重とこわか大会につなぐため、できる限り多くの皆さんにオリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルに参画いただくとともに、聖火リレーボランティアを通じて培ったおもてなしのノウハウや精神を両大会でも生かしたり、聖火ランナーを応援した皆さんが両大会でも引き続き地域一丸となって地元選手を応援するよう機運を高めるなど、地域の一体感が醸成されるよう取り組めます。
- ④事前キャンプについては、国と連携して万全な感染症対策を講じることにより、チームと受入れ側双方の安全・安心を確保するとともに、従来どおりオール三重で受入れ態勢を整え、より一層スポーツ推進に向けた機運醸成と交流促進に取り組めます。
- ⑤大規模大会の開催を通じて培われた有形・無形のレガシーを後世に引き継ぐため、選手やボランティアなどさまざまな人材を継続的に育成する仕組みや、大会を通じた市町の人づくり、まちづくりを支援する方策を検討し、大会の熱気が残るうちに着手できるよう取り組めます。

### 子ども・福祉部

- ⑥障がいのある人の自立と社会参加を推進し、障がいへの理解促進を図るため、十分な感染症対策を行ったうえで、ふれあいスポレク祭等を開催するとともに、障がい者スポーツ指導員など、障がい者スポーツを支える関係者の養成に取り組めます。また、さまざまな機会をとらえ、障がい者スポーツの裾野の拡大に取り組めます。

- ⑦引き続き選手や競技団体の育成を進め、三重とこわか大会に三重県選手団（選手・役員）を派遣します。
- ⑧東京 2020 パラリンピック出場選手など、県内在住の国内競技団体強化指定選手について、その競技活動を支援します。

## 主な事業

### 地域連携部

#### ①地域スポーツ推進事業

【基本事業名：24201 地域スポーツ活動の推進とスポーツを通じた地域の活性化】

予算額：(R2) 37,920千円 → (R3) 40,020千円

事業概要：東京 2020 オリンピック・パラリンピックの熱気と興奮をみえのスポーツフォーラムで伝え、その機運を三重とこわか国体・三重とこわか大会につなげ、スポーツへの機運を最大限に盛り上げます。また、総合型地域スポーツクラブに対する効果的な支援やスポーツ関係団体が行う事業の支援等を行います。その他、大規模大会で創出されたレガシーを共有する報告会（仮称）の開催や、大会後の地域づくりにつなげる方策について検討する有識者懇話会（仮称）を設置します。

#### ②地域スポーツイベント開催事業

【基本事業名：24201 地域スポーツ活動の推進とスポーツを通じた地域の活性化】

予算額：(R2) 15,584千円 → (R3) 16,084千円

事業概要：県民の皆さんがスポーツに親しむ機会の充実を図るため、引き続きみえスポーツフェスティバル及び美し国三重市町対抗駅伝を開催します。

#### ③スポーツを通じた地域の活性化支援事業

【基本事業名：24201 地域スポーツ活動の推進とスポーツを通じた地域の活性化】

予算額：(R2) 198千円 → (R3) 163千円

事業概要：市町が取り組むスポーツによる地域活性化・まちづくりの支援のため、研修会を開催します。また、「Jリーグクラブの誕生をめざし、「Jクラブ誕生とスタジアム建設を推進する県民会議」に参画し検討を進めていきます。

#### ④東京 2020 大会に向けた「オール三重」推進体制構築事業

【基本事業名：24202 大規模スポーツ大会のレガシーを活用したまちづくりの推進】

予算額：(R2) 176,018千円 → (R3) 200,026千円

事業概要：オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルについては、多くの皆さんが何らかの形で直接関わったり、応援できるような機運醸成に取り組むとともに、出発式等のセレモニーにおいて本県の多様な魅力を国内外へ発信する機会を設けるなど、地域の盛り上がりや、東京 2020 オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会につなげていきます。事前キャンプについては、感染対策を含めた安全な受け入れ態勢を構築するとともに、地元住民との交流事業を行います。

**子ども・福祉部**

⑤ 障がい者スポーツ推進事業

【基本事業名：24203 障がい者スポーツの裾野の拡大】

予算額：(R2) 57,249千円 → (R3) 102,526千円

事業概要：障がい者スポーツ指導員など、障がい者スポーツを支える関係者の養成に取り組むとともに、三重とこわか大会に三重県選手団（選手・役員）を派遣します。また、東京2020パラリンピック出場選手など、県内在住の国内競技団体強化指定選手について、その競技活動を支援します。